

令和4年度（2022年度）

## 長野県 産業教育振興会 特別生徒研究助成 報告書

長野県上田千曲高等学校  
生活福祉科  
教諭 知久 朱美

- 1 高等学校名 長野県上田千曲高等学校
- 2 学科・氏名 生活福祉科 小坂 綺嘉（こさか あやか）
- 3 研究テーマ ユニバーサル社会の実現に向けた、高校生によるワークショップの実践

### 4 研究目的・概要

近年、21世紀を真に豊かな時代とするため、年齢や性別、障がいの有無や国籍に関わらず、すべての人が地域において元気に活躍できる「ユニバーサル社会」の実現を目指し、ハード面はもちろん、ソフト面での整備も必要とされている。誰もが地域社会の一員として支え合い、一人ひとりの有する力を発揮することができるまちなするため、住民がともに学び、体験し、行動していく場がいま求められているのではないかと考えた。

そこで、福祉を学ぶ高校生が原動力となり、「ユニバーサル社会」を推進するためのワークショップを、上田市の障害当事者や地域住民、教育関係機関等と協働して企画・運営していく。

### 5 研究過程

#### （1）わたしたちの身近にある「社会の課題」について考える

「ユニバーサル社会」について考えるため、まず私たちが暮らす社会にどのような課題があるのか、各生徒がテーマを決め調査・発表・意見交換を実施。

#### 【生徒が設定したテーマ】

- ・認知症
- ・児童虐待
- ・高齢者虐待
- ・人種差別
- ・国際協力
- ・障害者の結婚
- ・児童虐待
- ・LGBTQ+
- ・子どもの幸福度



(2) 「社会の課題」について、当事者や専門職から学ぶ

生徒が調査・発表・意見交換したテーマをもとに、「社会の課題」に関わる当事者や専門職による出前講座、体験会、交流会等を実施。 \*以下写真は活動の一部。



ジェンダー平等と子育てを考える



JICA の活動と国際協力の意義を知る



精神障がいがある方の地域生活を学ぶ



身体に障がいがある方の地域生活を学ぶ



認知症当事者から学ぶ



子育てママと子どもの権利を考える

(3) 「ユニバーサル社会」を実現するためのワークショップを实践する

3つのテーマに絞り、生活福祉科3年生9名がワークショップを計画。なお、コロナ禍で校外での実施が困難となったため、下級生（本校生活福祉科1年生35名）を対象として行なった。このワークショップをもとに、「地域の魅力を活かす」視点も取り入れ、岡学園トータルデザインアカデミーが主催する「第5回長野プロデュースデザインコンテスト」に挑戦した。

①ジェンダー平等な社会（LGBTQ+について学ぶ）



②子どもが健やかに育つ社会（子育てについて学ぶ）



③誰もが生きがいを持てる社会（モノから思い出へ—SDGsについて学ぶ）



6 研究成果

「第5回長野プロデュースデザインコンテスト」には3チーム応募し、2チームが最終審査（プレゼン）へ通過した。結果、テレビ信州のミッションで「性の多様性」に関するCM動画を提案したチームが優秀賞を受賞した。ワークショップでの実践を例として、「性の多様性について一人ひとりが理解するだけでなく、紙コップでパペットを作り、自分なりの『宣言』をしよう」としたコンセプトが評価された。生徒自らが考案・実践したワークショップの有効性を実感すると共に、次年度こそは地域住民と協働での開催を実現したいと強く感じている。



